令和８年度　荒尾市立府本小学校グランドデザイン

教育目標

かしこく、やさしく、たくましく、郷土を愛す「ふもとっ子」の育成
～子ども・先生・保護者・地域が幸せや生きがいを感じられる学校づくり～

校訓

かしこく（知）　やさしく（徳）　たくましく（体）

学校像

よき伝統を継承し、新たな特色を創造し続ける学校（教職員）
○子ども、保護者、地域住民から信頼される学校（教職員）　○美しく整備された落ち着きのある学校（教職員）
キーワード：**主体性**（すすんで）　**協働性**（みんなで）　**創造性**（やってみよう）

子ども像

ふるさとを愛し、地域の一員として何ができるかを考え実践できる子ども（実践力）

- **進んで学び合う子ども**（知育）
- **進んで関わり合う子ども**（徳育）
- **進んで体づくり暮らしづくりをする子ども**（体育）

育てたい力

主体性（すすんで）：目的を持って進んで考え判断し、責任を持って行動し、やり遂げる力
協働性（みんなで）：思いに気づき、目的を共有しながら多様な他者と関わり、協力して行動する力
創造性（やってみよう）：主体性、協働性を基盤として、新たな考えを作り出し、より豊かに生きる力

学校総体の取組

確かな学力の向上（知育）

○「学び合う授業」の実践
- 府本ベーシックによる学習実践
- 確かな教材研究と教科の本質を捉えた学習展開による深い学びの実現
- ｱｳﾄﾌﾟｯﾄを意識した学習展開

○特別支援教育の更なる充実
- 合理的配慮に基づく教育活動の推進
- 特別支援教育の視点に基づく教育活動を全学級で展開

○英語教育の充実
- 言語活動と小中・小小連携の充実

○基礎的・基本的事項の定着
- ICT 機器の効果的活用
- 学習規律の徹底（適切なｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ）

○家庭学習の充実
- 自学ノート実践と自発的学習の積極評価

○読書活動の積極的推進

心の教育の充実（徳育）

○自治的子ども集団の形成
- 温かな学級風土づくり
- 共感と相互信頼の関係構築
- 協働的・自治的活動の推進

○差別解消を目指す人権教育
- 思いやりのある言動
- 差別問題認識を高め、差別解消への行動化を促す授業実践と日常指導

○考え話し合う道徳の充実
- 交流・議論中心の道徳実践
- 道徳的判断、行動の実践化

○主体的な生活習慣及び生活環境改善の実践化
- 子どもが発案し協働して実践する委員会活動、自発的活動の推進

健康体力の向上（体育）

○運動に親しむ活動の推進と運動量の確保
- 教科体育の質・量の向上

○家庭と連携した危険回避、健康管理能力の向上
- 家庭と連携した交通安全指導及び防災教育の推進
- 「自分の命は自分で守る」教育活動の推進
- メディアコントロール及びネットモラル涵養についての啓発
- 子供及び保護者への啓発の徹底、主体的取組の推進
- 早寝、早起き、朝ご飯の推進

○家庭学習・生活習慣づくり
- 子供の主体的判断による電子機器利用時間削減
- 読書時間及び家庭学習時間増の意義及び必要性の啓発

自立支援チーム（学級経営・適応指導・生徒指導・特別支援教育等のニーズに対するサポート）
【　校長・教頭・養護教諭・専科指導・支援員・事務部　】

学校課題

- 主体的・協働的な学習の実現が課題
- 規範意識が低い（個人差大）傾向にあることが課題
- 家庭・地域と連携したよりよい生活習慣の形成が課題

基本方針

人権尊重の視点を基底に、コミュニティ・スクールの特性を活かして家庭・地域との連携の基、主体的・協働的な教育活動の積極的展開により子どもの資質・能力を高め新しい時代を生き抜く人材を育成する。

経営基盤

主体者意識を持った協働組織（学校応援団）
保護者（ＰＴＡ）　子ども集団　教職員集団　学校運営協議会　府本地区協議会